

令和 8 年度全国学力・学習状況調査についてのお知らせ

今年度も、全国の 6 年生を対象に実施されました、全国学力・学習状況調査の本校の調査結果の概要をお知らせいたします。

I 教科別学習状況調査の結果

(1) 平均正答率と主な成果

	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率 (%)	平均正答数	平均正答率 (%)
横浜市立 平沼小学校	8.9/13	69.0	10.4/16	65.0
全国との差		+8.1		+8.6
全国	7.9/13	60.9	9.2/16	56.4
神奈川県	7.9/13	61	9.0/16	58.0

(2) 主な成果と課題

- 「国語」「算数」の両教科において、全国・神奈川県の平均よりも上回る結果となりました。
- 以下の設問においては、全国平均よりも本校の平均正答率の高さが顕著に見られました。

〈○成果〉

【国語】

問題概要 [2 (4) 二]	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
出題の趣旨	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうか。
分析内容	文章を読んで、話の中心となる事柄や、筆者の考えの中心となる事柄を基に、自分の経験と結び付けて考えをまとめられている児童が多くみられた。 全国平均正答率 76.4% に対して、86.0% と上回っていました。

【算数】

問題概要 [4 (1)]	データの分析に関わる数学的活動を通して、日時の観点や場所の観点などからデータを分類整理し、表に表したり読んだりすること。
出題の趣旨	示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できるかどうか。
分析内容	表やグラフを読み取って特徴・傾向を把握するために、表が正しく集計できてい

	るかを確認し、誤りの有無の根拠を資料のデータを基に説明できる児童が多くみられました。 全国平均正答率 56.2%に対して、66.4%と上回っていました。
--	--

2 今後の取り組みについて

○どの教科等においても、知識・技能を問う設問においては、全国平均を上回る結果が出ています。学習で考えたことを発揮できるような授業を行っていきます。

○国語科においては、「書くこと」の領域において、「他者の文章を引用して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」に課題が見られました。引用文と自分の考えの役割を比べたり、短く引用した文章を基に自分の意見をつくる学習を積み重ねたりすることを通して、筋道立てて書く力を育てます。

○「データを二つの観点から分類整理する方法について理解し、目的に応じて、二次元の表を作成したり、表から必要な数値を読み取ったりできるようにすること」に課題が見られました。複数のデータを二次元の表に分類整理することができるために、項目を順序よく捉えたり、読み取った数値がどのような場合なのかを捉えたりすることができるように、学習活動を進めていきます。

3 学習習慣・生活習慣の特徴的な結果と今後の改善策について

【学習に関すること】

「あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか」という設問に対して、82.5%の児童が、肯定的な回答をしていました。自分と違う意見を言われたときに、「それは違う」と決めつけるのではなく「そういう考えもあるんだね」と受け止める優しい雰囲気が共有されています。相手を尊重しながら耳を傾ける姿勢と、お互いを認め合う関係性が育っています。

【生活に関すること】

「学級会における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」という設問に関して、84.4%の児童が肯定的な回答をしていました。決められた目標ではなく、話し合いを通して「今の自分に必要なこと」を自ら考え、決定できる児童が多くいます。学校での学びが一方通行にならず、子どもたち一人ひとりの「自分で目標を立てて努力する力」として、継続して教育活動を進めていきます。